

# 令和5年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月5日(土)⑤

担当部局・担当課名: 生活環境文化部環境政策課

事業名	とやま環境未来チャレンジ	評価結果	抜本的改善
-----	--------------	------	-------

## 事業レビューにおいて発言のあった主な意見

### 【委員の意見】

- ・紙ではなく、タブレットを使った双方向のアプリみたいなものの方が子供が飛びつくのではないか。
- ・電子化により、集計(CO2削減量)に時間がかかる事務負担が改善され、県庁の限られたリソースの中で、頻度を増やすことができるのではないか。
- ・抜本的改善だけでも予算を拡充して、長期的に取組みが続くような仕組みが必要。

### 【県民評価者の意見】

- ・紙でやるのは大変なので、デジタル化を進めたほうが良い。
- ・継続的なものにして、長期にわたってエコな活動に取り組む意識を持つことが大事。

## 県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数	20
---------	----

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (学校の既存の取組で 対応)	役割分担 見直し (広域または市町村単 位での実施)	抜本的改善 (コンテンツ・事業の仕 組み自体の見直し)	一部改善 (コンテンツはそのまま で、デジタル化による 実施方法の改善)	現行どおり ・拡充
		0	2	11	4
県民評価者の 主なコメント	<b>【抜本的改善】</b> ・デジタル化を進めるための、一時的な事業費増は良いのではないか。 ・タブレットPCは学校貸与のものを活用することも可能ではないか。今の子供たちはタブレット操作にも慣れているので、運用もスムーズだと思う。 ・事業の目的が、CO2削減のための意識啓発や周知であることを明確にするべき。				
	<b>【役割分担見直し】</b> ・市町村での対応のほうがきめ細かく対応できるのではないか。 ・富山県に限らず全国的に拡充されるべき。 ・デジタル化しやすい分野でもあり、タブレット端末の活用等は必須ではないか。  <b>【一部改善】</b> ・デジタル化により、日々取り組みやすいような仕組みをつくるべき。  <b>【現行どおり・拡充】</b> ・対象者を拡充したらよいのではないか。				

## 【参考】委員による評価

委員総数	4
------	---

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
		0	0	2	2

<b>事業名</b>	とやま環境未来チャレンジ	<b>評価結果</b>	抜本的改善
------------	--------------	-------------	-------

**【県の対応】**

今後の 対応方針	<b>抜本的改善</b>	事業内容見直し			
	○事業実施に係る事務負担の軽減と作業効率化を図ること、また、実施校の拡大に向け、タブレット端末を活用した教材のデジタル化を実施				
令和6年度 当初予算 での対応	R6当初予算 (要求額)	9,500(千円)	R5当初予算	3,500(千円)	増減額 +6,000(千円)
	増減理由	タブレット端末を活用した教材のデジタル化のためのアプリの作成による増			

当初予算編成プロセスの見える化

令和6 年度 当初 予算	要求 状況	<b>要求額</b>	9,500(千円)	<b>前年度予算額</b>	3,500(千円)	
		<b>事業の目的</b>	デジタル技術を活用した地球温暖化の環境教育の仕組みづくり			
		<b>事業内容</b>	家庭における脱炭素の取組みの拡大を図るため、小学生を対象とした環境教育「とやま環境チャレンジ10」の実施と教材のデジタル化に向けたアプリの制作			
		<b>積算内訳</b>	9,500千円			
	<b>予算編成過程における議論</b>		レビューにおける意見を踏まえ、タブレット端末を活用した教材のデジタル化に向けたアプリを作成するなど、適切な見直しが行われている。			
	最終的 な予算 案	<b>予算額</b>	9,500千円	/		
		<b>要求時点からの変更点</b>	変更なし			